



源氏ヶ峰城



主郭の南方から進攻する敵兵を阻止する堀切

所在地：富山県小矢部市松永
 別称：源氏ヶ嶺城、源氏ヶ峰堡
 立地：丘陵頂部、標高245m
 城主：平維盛指揮下の平家軍、佐々成政
 時期：平安末期、戦国
 見学時間（参考）：約1時間40分

（千歳ヶ瀧まで往復30分を含む）

北陸道倶利伽羅峠の東方に連なる礪波山丘陵の一支峰、源氏ヶ峰の山頂に占地する。東麓の松尾・松永から登る北陸街道脇道が城内を通り、城跡からは倶利伽羅峠や礪波平野を展望できる。



倶利伽羅峠方面の登城口

寿永2年（1183）、般若野合戦に敗れ後退した平維盛率いる平家軍は猿ヶ馬場に本陣を置き、源氏ヶ峰にも兵を置いて源氏軍に備えた。火牛の計で有名な倶利伽羅合戦において、山麓から攻め寄せた木曾義仲率いる源氏軍がここに本陣を置いたと伝えられ、山名の由来にもなっている。

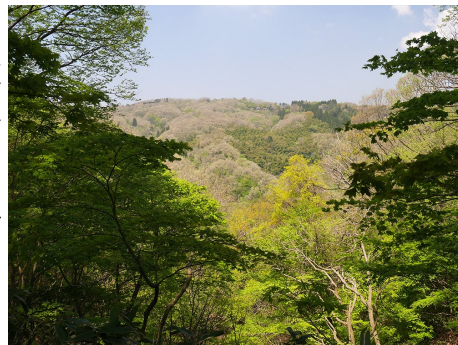


礪波平野の眺望



千歳ヶ瀧

天正12年（1584）、加賀の前田利家と越中の佐々成政が対立すると、北陸街道本道の加越国境の備えとして成政が龍ヶ峰城と源氏ヶ峰城を改修して在城した。土塁や堀切、竪堀、喰違い虎口など成政が改修した城郭施設が今も城跡の随所に残されている。



地獄谷と倶利伽羅峠の眺望



竪堀



喰違い虎口

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル株式会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>